

じんけんのひろば6

人権は、身近なところから、自分自身から

同和問題、女性の人権、障害者の人権、高齢者の人権、子どもの人権、外国人の人権、ハンセン病回復者の人権、野宿生活者の人権、インターネットによる人権侵害、HIV感染者の人権、その他にも様々な人権課題があります。それぞれの人権課題について理解し、その解決に向けて行動できるようになるためには、普遍的な視点から人権教育を進めていく必要があります。

お互いのよさや可能性を認め合い、一人一人が大切にされる温かい人間関係を育み、共に生きていくことができる社会を築いていこうと協力し合えたらこんなすばらしいことはありません。そのためには、まず、自分自身に向き合い、自分の中に思い込み（先入観や固定観念）がないか、点検してみることが大切です。思い込みは、時に偏見へと姿を変えていくことがあります。さらには、差別につながっていくことさえあるのです。

自分のことは、わかっているようで、なかなか気がつかないことも多いのではないのでしょうか。ちょっとした言動が、人を深く傷つけてしまっているかもしれません。この機会に、少し自己点検してみましょう。

例えば、次の絵を見て、考えたことをいろいろな人と話し合ってみてください。自分の育ってきた環境の中でごく自然に受け入れてきたことが、他の人には違和感のあることだったりするかもしれません。



また、文化や習慣の違う他の国では、「えーっ」とびっくりするようなことがごく当たり前のことだったりすることを、テレビ番組等で見たりしたことがあると思います。

どちらが正しいかということではなく、人それぞれに感じ方はちがうものであり、まずそれらを知り合い、受けとめあうことが大切だということです。

そして、そこから気づいたことを大切にして、人間関係を築いていくことが、人権文化の薫る豊かな社会づくりにつながっていくのではないのでしょうか。